

11月の研究授業に向けてお世話になっております。各社会科学年部会で検討してくださっている授業案について簡単に共有いたします。

○授業研究会(11/28)

3年「火事からまちを守る」

- ・学習問題「火事からまちの安全を守るために、だれがどのようなはたらきをしているのだろう」
- ・前单元「警察」の学習も生かして、消防の单元を進める。
- ・消防署や消防団の方、教頭先生、少年少女消防クラブの6年生など多くの人とつながっていく。
- ・本時は、単元の終盤。「火事から地域の安全を守るために自分たちができること」を話し合う。**【A 判断（関わり方）】…学習指導要領で示された判断。**

5年「情報と販売業」

- ・学習問題「販売業ではどのような情報を、どのように活用しているのだろう」
- ・地域のコンビニの方ともつながりながら、学習を進める。
- ・本時は単元の2時間目。
予想を出し合う→予想を「仕入れ」「商品開発」「サービス」などに分類
→「売り上げを高めるために」を意識して、どれを調べるかを選ぶ。
【C 判断（見通し）】…個の追究（複線型の調べ学習）につながる。

○校内研究授業

6年「明治の新しい国づくり」

- ・学習問題「明治の新しい国づくりは何を目ざして、どのように進められたのだろう」
- ・徳島の廃藩置県や学校など地域教材も活用しつつ学習を進める。
- ・本時は、単元の終盤。「近代化を急いで進めたことに賛成か」を話し合う。
【B 判断（深く分かる）】…民衆が不満に思っているにも関わらず、近代化を急いだ背景・理由が深く分かる。

4年「地域で受けつがれてきたもの」

- ・学習問題（後半）「阿波おどりは、どのように受け継がれてきたのだろう」
- ・連の方々や阿波踊りを支える方々（道具をつくる方・市役所の方など）とつながる。
- ・本時は、単元の終盤。「阿波おどりはこれからも受けつがれていくか」を話し合う。
【B 判断（深く分かる）】…「阿波踊りに関わる人が減っている」「地元の興源寺で踊る人々の思いに自分たちも気づいていなかった」という問題点が深く分かる。→次時の「自分たちにできること」へつなぐ。